

「明治大学数理教育シンポジウム 2012」の御案内

趣旨:

「学力低下」はいまやもっともポピュラーな世間話の話題ですが、もしそれが現実であるなら嘆いてすむ話で決してありません。しかも、それを現実として引き起こされているとすれば、そのような若者を育てた私達広い意味での《親の責任》とその自覚に基づく《具体的な対策》が求められていることも指摘するまでもありません。しかし、実際には、どこかの国の財政政策やエネルギー政策と同様、「責任」問題は拡散し、お茶を濁すようなその場限りの「改革目標」と、失敗だけが必然的な「危ない抜本改革」の議論に収束してしまっているようではないでしょうか。ポピュリズムとファシズムの結合の危険は政治の世界だけでなく、まさに教育における問題として真剣に取り組まなければならないように思います。

このような趣旨から、明治大学の数学科では、深刻な問題をより広い視野からより真剣に論ずるために数理教育シンポジウムを毎年開催して参りました。今年は、いろいろな事情で準備が遅れてしまいましたが、下記の要領で開催する準備を進めております。

日程:

3/17 (土曜日) 10:00 ~ 17:00

3/18 (日曜日) 10:00 ~ 16:00

ところ:

明治大学生田キャンパス (理工学部・農学部) 理工学部 A 館¹

17日は A301 (通常教室)、18日は A401 (マルチメディア教室)

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ikuta/access.html

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ikuta/campus.html

例年使ってきた駿河台キャンパス最寄りの紫紺館は、参加者人数の関係から断念しました。会場の違い、特にご注意ください。

本年度の主題:

《なぜ学生は大学の数学に躓くのか？—— 学生の言い分 vs. 教員の言い分》

この趣旨から、高校、大学における数学教育の実践家とそなたたちから教育を受けてきた学生、元学生の方々を中心に、数学教育に関して深い学理的経験と高い国際的視野 / 学際的視野をお持ちの方を交えて、入試や卒業判定、就職問題などいかなる問題もタブーとせず討論 (闘論を含む) を行ないたいと思います。

¹向ヶ丘遊園方面にある「正門」からですと、門を入ってすぐに右手に見えるやや高層の建物です。

シンポジウム組織委員会

明治大学理工学部 長岡亮介

日本大学工学部 乙藤 隆史

西武文理学園中学高等学校 谷川 雅子

明治大学理工学部大学院 谷田部篤雄